

令和8年度美術科<第1学年>年間指導計画

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第1学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようになる。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

知は、知識及び技能、思は、美術の思考力、判断力、表現力等、主は、学びに向かう力

月	題材名 (配当時間)	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4月	美術オリエンテーション『美術との出会い』。<1時間>	美術科学習に向けて意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 心構え、授業内容の説明 年間授業内容・評価方法などの説明 表現の自由について理解を深める。 	思 造形的な良さを感じ取り、作者の心情や表現の意図などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	
5月	見つめて、感じて、描いて<6時間>	身近なものや愛着のあるものを見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものや愛着のあるものをよく見たり、触ったりして特徴を捉え、主題を生み出す。 鉛筆や絵の具の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 	知 形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。	
				思 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	
				主 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	
6月	文字っておもしろい<2時間>	レタリングの技法を習得し、字体の書き分けができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 身近にあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色から受ける印象やその違いについて考える。 伝えたい内容を基に、文字の形の効果を考える。 レタリングの基本的技能を身につけて表現に生かす。 	知 字体の特徴をしっかりと捉え文字に対応して描きわけることができています。枠に収まるように崩れないように大きく描くことができています。	
				思 文字の意味やイメージ、伝える場面をもとに、分かりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。	
				主 文字の伝達表現に関心を持ち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	
7月	文字が生み出すイメージ<6時間>	イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。	<ul style="list-style-type: none"> 身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。 文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考えてデザインする。 	知 文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。	
				思 文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。	
				主 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく意味や美しさなどを生かして文字をデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えながら構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	
8月	りんごかもしれない<10時間>	ヨシタケシンスケ氏の絵本『りんごかもしれない』を読み聞かせし、「りんごかもしれない」ものを	<ul style="list-style-type: none"> 「りんごかもしれない」ものの特性や見た目などを発想し、構想を練る。 構想した「りんごかもしれないもの」そのものまたは特徴的な場面などを、ねんどを 	知 ねんどべらなどの用具を試行錯誤して使うとともに、意図に応じて、形や色彩を工夫して表現している。	
				思 全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	

10月		想像し立体物に表してみることを通して発想力を高めるとともに、意図に合わせ用具を工夫し、創造的に表す。	使用し、立体物に表す。	主	形・色・におい・食感・断面など多角的に「りんごかもしれない」ものについて意欲的に発想を広げて、「りんごかもしれない」ものを立体に表す活動に主体的に取り組んでいる。	
	絵の中にある物語〈2時間〉	構図、色彩や人物の表情や視線などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> 描かれている人や事物、構図や色使いから絵の中でどのような物語がくり広げられているかを考える。 作品を鑑賞して感じたことや考えたことについて、友達と意見を述べ合う。 	知 思 主	<p>構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>造形的なよさや美しさを感じ取り、人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方などとして、見方や感じ方を広げている。</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
11月	屏風、美のしかけ〈6時間〉	屏風の表現のよさや美しさ、折ることで生まれる立体感や見え方の変化を感じ取るなどして見方や感じ方を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> 屏風ならではの美しさや工夫について触れ、それを生かして表現する。 自分の空間を彩る屏風を制作する。 	知 思 主	<p>構図、余白、折りによる空間や奥行きの表現などに着目し、その効果をとらえる。</p> <p>屏風の表現のよさや美しさ、余白や折りなどの作者の意図と工夫、美術文化について考え、鑑賞する。</p> <p>屏風の表現のよさや見え方の変化などに関心を持ち、意欲的に鑑賞制作に取り組む。</p>	
	墨と水が描く世界〈6時間〉	水の量や筆の動かし方、線の勢いなどを試しながら主題を生み出し、工夫して表す。	<ul style="list-style-type: none"> 墨による表現を用いた作品を鑑賞し、水分量や筆の動かし方などによる表現の違いを感じ取る。・自分の空間を彩る屏風を制作する。 水の量や筆の動かし方、線の勢いを試しながら、感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどから主題を生み出し、構想を練る。 墨や筆の動かし方などを生かして、意図に応じて工夫して表す。 	知 思 主	<p>墨の濃淡や筆の線の勢いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、墨による表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、墨による表現の効果を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表したい主題などを基に構想を練ったり、意図に応じて筆使いや水加減を工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	5, 6下 墨から広がる世界
12月	立体的に描く方法 ～透視図法で空間表現～ 〈6時間〉	透視図法を学び、表現の幅を広げる。透視図法を通して、デッサンの技法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 1点透視、2点透視、3点透視図法を学び、奥行きのある空間表現ができるようになる。 	知 思 主	<p>透視図法を理解し、立体感を表現できている。</p> <p>透視図法を活用した構図や構成について考え、工夫しながら表現している。</p> <p>透視図法に関心をもち、積極的に活動に取り組んでいる。</p>	
	1月					
2月						
3月						

令和8年度美術科<第2学年>年間指導計画

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第2学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

知は、知識及び技能、**思**は、美術の思考力、判断力、表現力等、**主**は、学びに向かう力

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4月	オリエンテーション <1時間>	美術科学習について意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 心構え、授業内容の説明 年間授業内容・評価方法などの説明 	学 学習内容に関心を持って意欲的に授業に取り組むことができたか。	
5月	写真表現の魅力 <9時間>	写真表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、被写体の印象や瞬間の美しさなどから主題を生み出し、構図の効果を考え、構想を練ったりカメラの特性を生かしたりして創造的に表す。	<ul style="list-style-type: none"> 被写体の印象や瞬間の美しさなどから主題を生み出す。 主題を基にカメラの特性や効果を生かして創造的な表現の構想を練り、写真で表す。 互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫などについて話し合う。 	知 写す角度や配置、拡大や縮小、光や陰影、時間の静止などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。	
				思 身近な環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	
				主 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に写真表現の特性などを生かして構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	
6月	その一枚が人を動かす <2時間>	心でとらえた感情や言葉の印象などから主題を生み出し、形や色彩の効果、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に版画で表現する。	<ul style="list-style-type: none"> イラストレーションや文字色彩などを効果的に生かし、テーマに合わせた主題を考え、美しく、印象に残るようなポスターを制作する。 	知 イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などに着目し、伝達するイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、見通しを持って表す。	
				思 伝えたい情報やイメージ、伝える場面をもとに、形や色彩、写真やイラストレーション、文字による伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。	
				主 美しく印象に残るポスターなどをデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組む。	
7月	ひと目で伝わるみんなのデザイン	ピクトグラムのデザインに関心を持つ	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための 	知 形や色彩が感情にもたらす効果や、具体物や行為を表す形の特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることを理解している。	

8月 9月	<5時間>	ち、伝えたい内容やイメージ、伝える場面などを基に主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果を考え、見通しを持ってデザインし表す	<p>工夫について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内や身近な場所に活用できるサインやマークを基に主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ひと目で伝わり、場所や目的に合ったデザインであるか互いに批評し合い、アイデアを再検討する。 	<p>知</p> <p>伝えたい内容やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。</p>	
				<p>国</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝える目的や機能を考えてひと目で分かるピクトグラムの構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
10月	石のハンコに思いを込めて（篆刻） <10時間>	テーマに沿った印面と持ち手を制作し、材料や用具の生かし方などを工夫して表す。	<ul style="list-style-type: none"> 自分のテーマを印面と持ち手で表し、ハンコを制作する。 材料の持つ特性を生かした作品のよさを味わう。 	<p>知</p> <p>感性や想像力を働かせて主題を生み出し、材料を活用し、心豊かな表現の構想を練っている。 新たな表現方法を工夫したり、制作の順序など見通しをもちながら表現したりしている。</p>	
				<p>思</p> <p>感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたことを基に表現した作品を味わっているか。</p>	
				<p>国</p> <p>篆刻の制作に関心を持ち、主体的に心豊かな表現の構想を練ったり、石の特性を生かした表現ができたか。</p>	
11月 12月	日本文化との出会い <1時間>	ジャポニスムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉え、表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通じた国際理解、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。 西洋の美術作品に影響を与えた日本美術作品のよさや美しさはどのようなところにあったのか、作品の特徴や時代背景なども視野に入れながら考え、意見を述べ合う。 	<p>知</p> <p>構図や色彩、線などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、日本美術の作風や印象を捉えることを理解している。</p>	
				<p>思</p> <p>ジャポニスムの表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	
				<p>学</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的にジャポニスムの表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
2月 3月	日本の技と心を受け継いで <7時間>	テーマや自分の世界観を和菓子を通して、表現する力を養う。また、製品として、てにとってもらうことを意識して創造的にデザインする。	<ul style="list-style-type: none"> 和菓子の制作を通して、見る人の気持ちや作品の世界観、テーマを総合的に考え、表現の構想を練る。 形や色使いに注目し、日本の伝統的な要素にも興味を持ち、作品制作に生かせるようになる。 	<p>知</p> <p>自然や季節を感じさせる形や色彩に着目し、造形物の美しさをとらえ、材料や用具の特性を生かし、見通しを持って表す。</p>	
				<p>思</p> <p>季節感を取り入れた日本の伝統や、使う場面などをもとに、形や色彩、材料などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p>	
				<p>国</p> <p>生活に息づく美術の働きに気づき、季節感を表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。</p>	

令和8年度美術科＜第3学年＞年間指導計画

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第3学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

知は、知識及び技能、**思**は、美術の思考力、判断力、表現力等、**主**は、学びに向かう力

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4月	オリエンテーション ＜1時間＞	美術科学習について意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 心構え、授業内容の説明 年間授業内容・評価方法などの説明 	学 学習内容に関心を持って意図的に授業に取り組みむことができたか。	
5月	魅力を伝えるパッケージ ＜9時間＞	伝える目的や条件、中身のイメージなどから主題を生み出し、意図に応じて表現方法を創意工夫してデザインする。	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのパッケージの造形的な特徴などに着目し、形や色彩の工夫を理解する。 伝える相手や内容の他、地域や社会との関わりなども視野に入れて主題を生み出す。 情報や気持ちなどを分かりやすく美しく的確に伝える効果と調和を考え構想を練る。 	知 形や色彩、質感などに着目し、意図やイメージをとらえ、材料や用具の特性を生かし、見通しを持って表す。	
				思 伝える目的や条件、中身のイメージをもとに、美しさと伝達の効果などを考え、構想を練ったり、鑑賞したりする。	
				主 中身のイメージなどから、パッケージをデザインすることに関心を持ち、意図的に取り組む。	
6月	仏像の姿に見る人々の祈り ＜2時間＞	顔や手の表情がもたらす効果による全体のイメージなどを捉え、仏像彫刻の特色やよさや美しさに関心を持ち、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 作品を鑑賞し、顔や手の表情がもたらす効果や、形や材料、質感、空間などの造形的なよさや美しさを感じ取る。 時代や種類、作者による特徴などを理解し、作品から受ける思いについて意見を述べ合う。 	知 顔や手の表情、形や材料、質感、空間などに着目し、印象などをとらえる。	
				思 仏像彫刻のよさや美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する。	
				主 仏像彫刻の特色、よさや美しさなどに関心を持ち、意図的に鑑賞に取り組む。	
7月	わたし自身を見つめて ＜9時間＞	自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、絵の具や用具などの特性を生かし意図に応じて創意工夫して絵や	<ul style="list-style-type: none"> 自己と向き合い、自分の生き方と照らし合わせながら、自分の気持ちや性格、思い出や夢などについて考え、主題を生み出す 主題を基に構図や色彩などを試行錯誤し、創造的な構成を工夫して 	知 自分の内面と向き合い、感じて考えたことをもとに形や色彩などの効果を生かした表現方法を考え構想を練っている。	
				思 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える	
8月					

9月		立体で表現する。	<p>構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 材料などの特性を生かし、意図に応じて創意工夫して表す。 • 自分や友達の作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考え、発表し合う。 	<p>などして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	
				<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自分の姿から感じ取ったことや心の内面などを基に構想を練ったり、構図や表情など意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
10月	芸術としての漫画表現 <6時間>	印象的な場面や瞬間のイメージなどから主題を生み出し、コマ割りや構図、背景などの効果を考え、ペンや筆の特性を生かし意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に絵で表現する。	<ul style="list-style-type: none"> • 印象的な場面や瞬間のイメージなど強く表したいことから主題を生み出す。 • コマ割りや構図、効果線やオノマトベ（擬声語）など表現してみたい技法を試み、自分の感じ方や考え方などで構想を練る。 • ペンや筆の特性を生かし、制作の順序などを総合的に考えながら表す。 	<p>コマ割りや構図、効果線やオノマトベ（擬声語）などの漫画の表現の効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p>	
11月				<p>印象的な場面や瞬間のイメージなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、コマ割りや構図、背景などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p>	
12月				<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に心に残る場面などを単純化や省略、強調、コマ割りや構図、背景などの効果を考え構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
1月					
2月	心がなごむカトラリー <8時間>	使う人の心がなごむデザインを考え、制作することを通して、プロダクトデザインや社会と美術の繋がりについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> • プロダクトデザインについて学び、普段何気なく使われている身の回りの物のデザインのすばらしさを学ぶ。 • 使う人のことを考えてデザインし、カトラリーを制作する。 	<p>考えたデザインをもとに、デザインの意図が伝わるように制作することができている。</p>	
3月				<p>形や色彩、素材感、使い勝手の良さに加え、遊び心を生かしながらデザインしている。</p>	
				<p>プロダクトデザインに関心を持ち、デザインの工夫などを感じ取り作品に生かそうとしている</p>	